

計画策定の趣旨などについて記載します。

計画策定の趣旨

- 長期的、短期的な社会経済情勢の変化に対応していくこと
- 厳しい時代潮流の中、将来に夢と希望を持てるような県づくりをしていくこと

計画の期間

- 30年程度先を展望しながら、平成22～26年度を計画期間とする5か年計画

計画の特徴

- ふくしま全体の指針となる計画
- 長期的視点での県づくり、柔軟な施策展開が可能となる計画
- 分かりやすい計画
- 実効性を重視した計画

計画の構成

第1章 ふくしまの特性と時代潮流

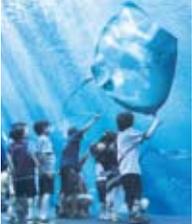
第2章 ふくしまのめざす将来の姿

第3章 ふくしまの基本方向

第4章 政策分野別の重点施策

第5章 地域別の重点施策

第6章 計画の推進のために



1 計画策定の趣旨

21世紀を迎え、我が国では、予想を上回る速度で人口減少や高齢化が進行し、一方、世界全体に目を移すと、人口増加を背景に資源、食料の需給の長期的なひっ迫が危惧され、さらには地球規模の環境問題が顕在化するなど、長期的な社会経済情勢の変化を避けて通ることが困難な状況になっています。また、本県においても、経済のグローバル化に伴う急激な社会経済情勢の変化による影響が生じています。

このような中、本県では、長期的な視点に立った上で、時機に応じた柔軟な施策展開を図ることができる計画づくりが必要との認識を深めてきました。

厳しい時代潮流が見通される中であって、県民生活の安全と安心を守り、県民が将来に夢と希望を持てるような豊かなふくしまをつくっていくために、この計画を策定しました。

2 計画の期間

この計画は、子どもたちが親の世代となる30年程度先を展望しながら、平成22(2010)年度を初年度とし、平成26(2014)年度を目標年度とする5か年計画です。

3 計画の特徴

(1) ふくしま¹全体の指針となる計画

この計画で掲げる基本目標、めざす将来の姿の実現に当たっては、県民、民間団体、企業、市町村、県など、本県で活動するさまざまな主体がともに力を合わせて、取り組んでいくことが必要となっています。この計画が、基本目標などの実現に向けて、県全体として共有する指針となることを期待しています。

(2) 長期的な視点での県づくり、柔軟な施策展開が可能となる計画

この計画では長期的な視点で県づくりをしていくため、将来を展望するとともに、県がその役割の下に実施する具体的な取組みについては、より柔軟な対応ができるよう5か年の計画としています。

(3) 分かりやすい計画

基本目標などの実現に当たっては、この計画が県全体で共有されることが特に重要となることから、できるだけ分かりやすい計画とすることを心がけました。

具体的には、県で策定している部門別計画などとの役割分担により、コンパクトな内容とするとともに、県が優先的に行う取組みを明確化しました。

このほか、県が取り組む施策について、指標を用いることで、実現を目指している方向性と水準を具体的に示すようにしました。

1 本計画では、将来の姿をイメージする部分など、福島県としてのエリアを強調する場合は「ふくしま」と表現します。

(4)実効性を重視した計画

計画の基本目標やめざす将来の姿を実現するためには、計画策定後も社会経済情勢の変化に対応しながら、この計画を着実に推進していくことが重要となります。

県民の参画を得ながら、指標を活用して施策の進行管理を行うとともに、戦略的な取組みを進めることで、計画の実効性を高めていくこととしています。

4

計画の構成

●めざす将来の姿

ふくしま全体で共有

第1章 ふくしまの特性と時代潮流

- 将来の姿を描く際の基礎を共有します。
 - ・本県のあゆみ、特性、時代潮流、人口・経済の展望、時代認識



第2章 ふくしまのめざす将来の姿

- 基本目標と将来の姿などを共有します。
 - ・基本目標と基本姿勢
 - ・めざす将来の姿



●基本方向

ふくしま全体で共有

第3章 ふくしまの基本方向

- 将来の姿の実現に向けた方向性を共有します。
 - ・政策分野別の基本方向
 - ・地域別の基本方向



●重点的に実施する取組み

県の役割の下に5年間で推進

第4章 政策分野別の重点施策

- 主な指標などにより5年後にめざす姿を示します。
- 県の役割の下に、政策分野ごとに重点的に推進する施策と施策の達成度を測る指標などを示します。

第5章 地域別の重点施策

- 各地域において、重点的に推進する施策を示します。



●計画の推進のために

第6章 計画の推進のために

- 計画推進に当たっての考え方、県民運動の展開、実効性の確保、重点プログラムについて示します。